



「市民の翼」中学生海外派遣事業

二本松市では、未来を担う中学生を海外に派遣することにより、国際理解を深めるとともに、広い視野に立った判断力と国際感覚を養い、地域社会において積極的に活躍できる人材の育成を目的に「市民の翼」中学生海外派遣事業に取り組んでおります。
この派遣事業は平成3年度に始まり、東日本大震災等の困難を乗り越え、令和7年度で29回目の実施となります。

【寄附金の使途】

市内の中学生10名をアメリカ合衆国に派遣するために活用させていただきます。

活動内容は、友好都市ハノーバー町でのホームステイや二本松市出身の世界的歴史学者である朝河貫一博士が学んだダートマス大学・イエール大学の訪問などです。

【SDGs 目標】



二本松市の地方創生に向けた取り組みに、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。
寄附に際し、二本松市より寄附額に応じた御礼をさせていただきます。

寄附で得られるベネフィット（寄附額に応じて積み重ねて提供します）

国の紺綬褒章推薦（1,000万円以上）

市政特別功労表彰（500万円以上）

市政功労表彰（100万円以上）
※市政特別功労表彰の対象となる場合は該当しません。

市長参加の寄附受納式の開催（100万円以上）
※二本松市にお越しいただける場合

市公式ウェブサイト企業名掲載（10万円以上）

お礼状の贈呈（10万円以上）
※郵送